

平成29年度経営計画



平成29年3月6日

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

理事長 奥村 次徳



マスコットキャラクター
チリン™

目 次

I-1. 平成28年度事業概要

II-1. 平成29年度年度計画

II-2. 研究開発事業

II-3. 製品化支援・技術支援事業

II-4. ロボット産業活性化事業

II-5. 海外展開支援事業

II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業

II-7. 経営改革の推進

1.1 経営方針

経営ビジョン

「時代の先を読み、技術の力で、
産業をリードする」

すべては産業界
のニーズに基づく

1) ニーズオリエンティッドな事業運営

2) 事業化を見据えた技術支援

技術による
事業支援

3) 産業育成に直結する研究開発

研究開発による
産業育成

➡「中小企業こそがイノベーションを起こす」

1.2 第2期、第3期中長期計画

第2期中期計画					第3期中期計画				
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
第2期中期目標の達成			第3期目標策定		第3期中期目標の達成			第4期目標策定	
新本部の設立・事業強化(3セクター、ブランド試験、ラボ、イノハブ)			新規事業の定着		セクターの再編(3D、先端材料、実証)、ブランド試験の拡大				
墨田・城南の機能再編					多摩テク・城東の機能再編				
注力4分野の確立 (環境・省エネ、高周波・半導体、メカトロニクス、バイオ応用)			注力4分野の 成果展開		新注力4分野の確立 (環境エネルギー、生活技術ヘルスケア、機能性材料、安全安心)			同、成果展開	
					ロボット産業活性化事業 				
震災復興支援、サービス産業等への支援拡充					生活産業支援の高付加価値化、障害者スポーツ研究開発の推進				
					中小企業のIoT化支援				
					航空機産業への参入支援				
					医療機器産業への参入支援				
中小企業の国際競争力強化(MTEP)					MTEP+海外現地支援(ASEAN)				
経営改革									
セグメント経営、業務時間分析、小集団活動等					第二期経営改革の継続、研究開発比率向上				

▲本部
拠点

▲MTEP
設立

▲生活S
設立

▲城南
再編

▲タイ拠点
▲ロボ推設立

▲多摩テク
再編

▲城東支所リニューアル

1.3 第3期中期計画のポイント

1) 研究開発活動による東京の成長産業支援

＜研究開発重点4分野＞

「環境・エネルギー」「生活技術・ヘルスケア」

「機能性材料」「安全・安心」

＜ロボット産業活性化事業＞

2) 開発型中小企業の支援充実

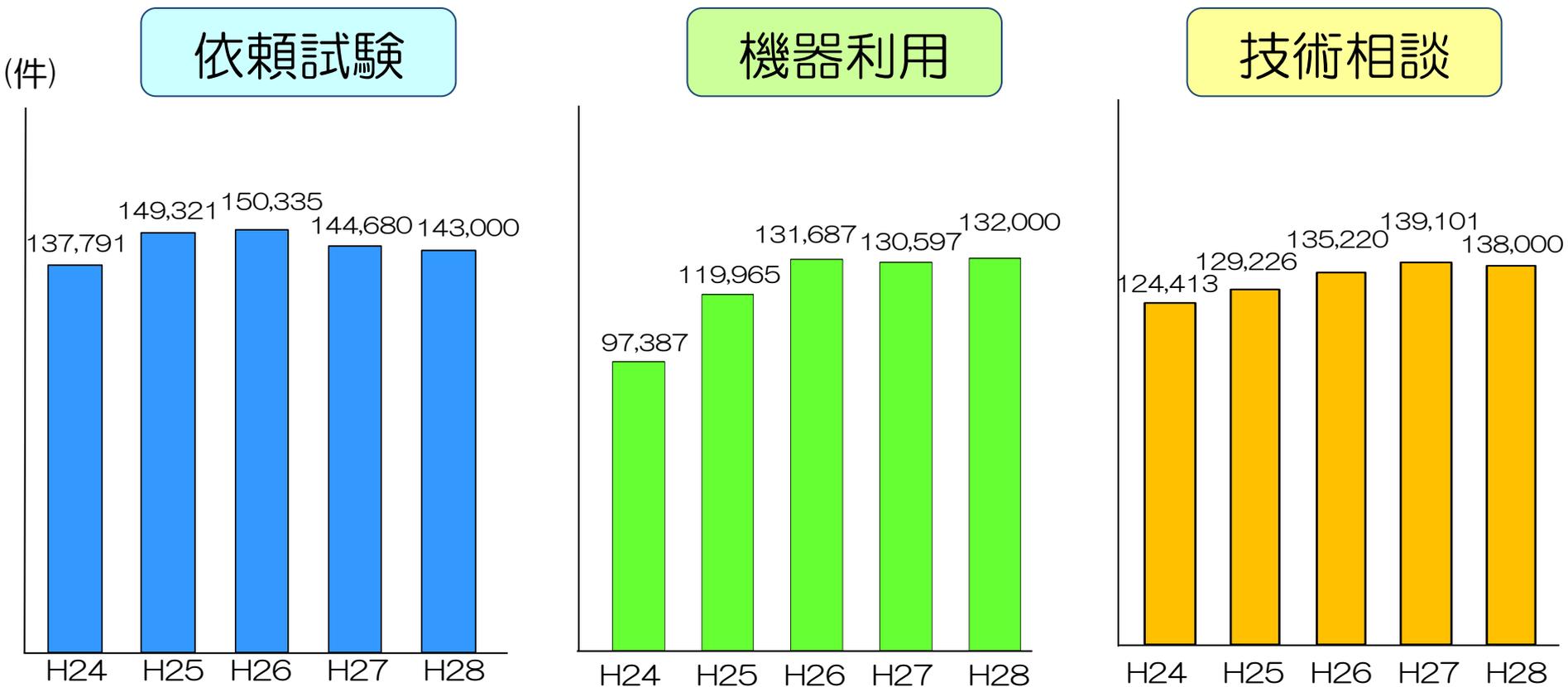
＜プロダクトイノベーションの推進＞

3) 中小企業の海外展開支援

4) サービス産業（特に生活関連産業）の支援

5) 高度な産業人材の育成

1.4 主要事業実績の推移（5年間、H28は見込値）



第3期新体制による取り組み開始
依頼試験から機器利用への移行

相談実績の
着実な推移

1.5 第三期重点研究分野の開始

第2期の重点4分野

環境・省エネルギー
省エネ型LED照明・VOC浄化用高性能触媒・
有害物質を排出しないめっき法

バイオ応用
バイオセンサー・局在プラズモン近接場顕微
鏡・細胞培養ゲル

EMC・半導体
LSPRセンサヘッド・ガス電子増幅器(GEM)・
生体信号センサ

メカトロニクス
バルーン型ロボット・おもてなしロボット・バイオ
フィードバックシステム

第3期の重点4分野

環境・エネルギー
環境浄化技術・リサイクル・エネルギー
マネジメント・次世代エネルギー

生活技術・ヘルスケア
感性工学・高齢者支援・医療機器

機能性材料
高機能性材料・機能性付与加工・
機能性評価

安全・安心
ロボット・産業基盤・社会インフラ

(都産技研の“強み”をさらに拡大)

1.6 研究開発事業 (1/2)

環境・エネルギー分野 研究例

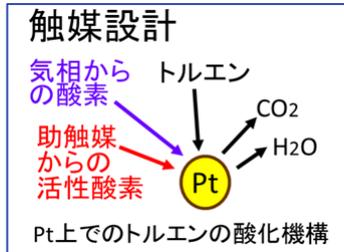
「低温VOC処理触媒の調製とキャラクタリゼーション」

【背景】

- 低温でトルエン等を処理できる触媒が存在しない
(現在、300℃以上で処理)
- 炭素析出による性能劣化の抑制が求められている。

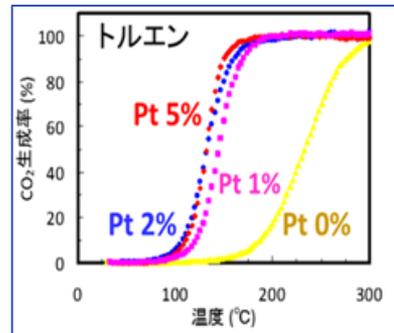


白金・助触媒をアルミナ上に担持する触媒を開発



【成果】

- 白金5wt%以下、150℃程度低い温度(従来比)でトルエン分解率95%以上
- 170℃のトルエン酸化では供給炭素2%以下まで析出量が低減



【活用例】

- ・工場等でのVOC触媒処理の低温化を推進し、省エネルギー化に貢献

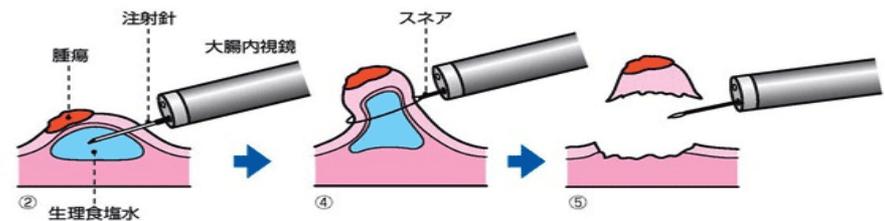
生活技術・ヘルスケア分野 研究例

「局注による膨隆形成現象を模倣した瞬発的吸水性ゲルの開発」

【背景】

- 臨床医の内視鏡治療の技術力向上が急務
- 練習基材として、現状では食肉で代用しているが、生体応答の模倣が必要

内視鏡治療：病巣を持ちあげる(局注-膨隆形成)技術が必要

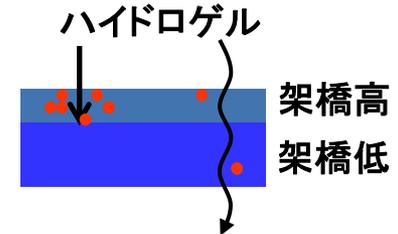


大腸癌治療ガイドラインの解説：大腸癌研究会編より引用



【成果】

放射線照射技術を活用し
同一ゲル内で生体を模した
二層構造を実現



【活用例】

- ・内視鏡手技訓練モデルの開発

- ・高さ5mm程の膨隆を形成
- ・膨隆保持時間10min以上
- ・局注部から1mL局注可

1.6 研究開発事業 (2/2)

機能性材料分野 研究例

「低エネルギー光照射によるナノ粒子の形状制御」

【背景】

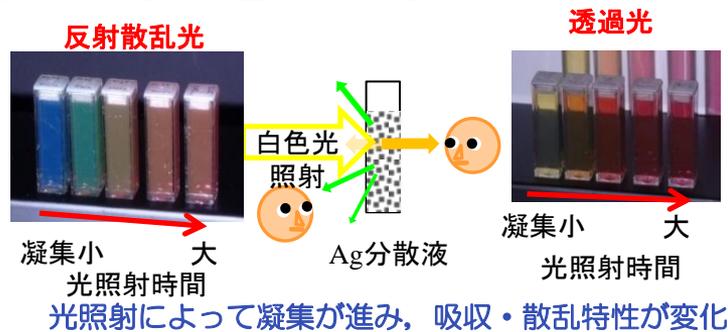
- センサの多様化に伴い、**微粒子の製造・形状制御技術の充実**が求められている
- 従来法では**大掛かりな設備**が必要
(化学反応による析出、高出力エネルギーによる粉砕)



低エネルギー光照射を用いたナノ粒子の形状変化の制御を目指す (特別な設備が不要、反応の停止が容易、等)

【成果】

凝集性の違いを利用した色材を開発



【活用例】

- 金属ナノ粒子の凝集制御による透明スクリーン
- 新規色材への展開

安全・安心分野 研究例

「超音波疲労試験機を用いたねじ締結体ギガサイクル疲労試験」

【背景】

- ねじ締結体の疲労強度・ゆるみに関する特性は、安全確保の上で非常に重要な要素となる



ギガサイクル試験によるねじの緩み評価法を確立

【成果】

- ①ねじ締結体 (試験片) 形状の検討に着手
 - 締付け条件による共振長さの調査
 - 締付け条件と共振長さの関係性有無を確認
- ②S-N線図の作成
 - 締付け条件を変化させて測定

→ギガサイクル試験の
ネジ締結体への適用



【活用例】

- 緩みにくいネジの開発

1.7 開発型中小企業の支援

①3Dものづくりセクター

「売れるものづくり」を総合的に支援

ナイロン粉末積層造形装置3台体制→利用実績増

②先端材料開発セクター

近年著しい発展を遂げたナノテクノロジーを応用した製品開発を化学的、材料科学的な立場から支援

③複合素材開発セクター

繊維技術、成形加工技術を活用し、高機能繊維、繊維強化材料の製品開発を支援

④実証試験セクター（第二期中期計画からの継続）

「安全で信頼性の高い製品開発」をワンストップで支援

※ 各セクターの概要は次ページ以降に記載

① 3Dものづくりセクター

■ 支援内容

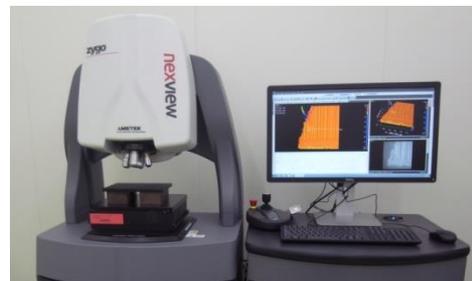
- 3D-CADをベースにした3Dものづくりの総合的支援
- 樹脂粉末および金属粉末等を材料にしたAMの駆使による様々な造形への対応
- 高精度な寸法測定～形状測定技術による品質評価を支援



<金属粉末積層造形装置>



<金属AM造形サンプル>



<走査型白色干渉測定機による測定>

金属AM
試作部位

■ AMを活用した製品化支援事例 コードレスビニール溶接機の開発支援



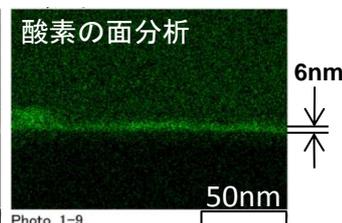
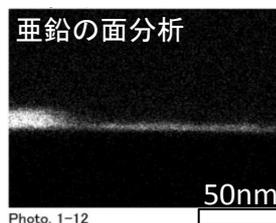
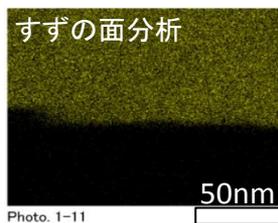
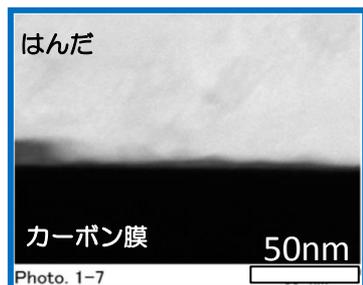
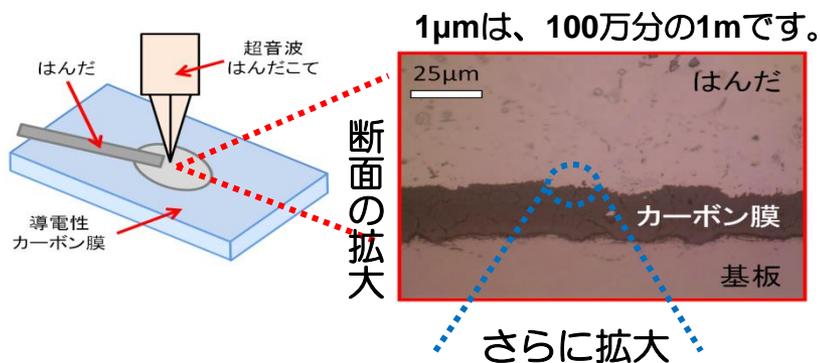
② 先端材料開発セクター

■ 支援内容

透過型電子顕微鏡をはじめ、高度先端機器を集中配置し、機能性材料開発や高精度加工製品開発を支援

■ 支援事例

従来技術では接合できない、ガラスやカーボン膜の表面へのはんだ接合に成功。
透過電子顕微鏡による観察と分析を行うことで、酸素を媒介とした接合メカニズムを解明することを可能にした。



<透過型電子顕微鏡>

1nmは、10億分の1mです。

③ 複合素材開発セクター

(平成28年7月複合素材開発サイト開設)

■ 支援内容

従来の繊維技術支援、環境支援、化学分析に加え、繊維技術、成形加工技術を活用し「高機能繊維材料」「繊維強化複合材料 (FRP)」の製品開発を支援



<カーボン織機>



<裁断機>



<高温プレス機>

■ 支援事例

アラミド繊維の不織布を利用した
防災頭巾



④ 実証試験セクター

■ 支援内容

「環境試験」「電気・温度試験」「製品・材料強度試験」の3分野で、製品や材料の安全性・信頼性の検証や確認を行い、高品質な製品開発を支援



<恒温恒湿槽>



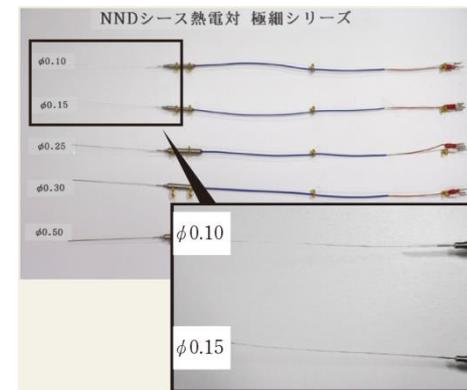
<熱電対自動校正装置>



<ねじり試験機(3000Nm)>

■ 製品化支援事例

狭い場所に入り込んだ内部の温度を計測できる、「外径0.1mm」極細の温度センサー



I-1. 平成28年度事業概要

II-1. 平成29年度年度計画

II-2. 研究開発事業

II-3. 製品化支援・技術支援事業

II-4. ロボット産業活性化事業

II-5. 海外展開支援事業

II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業

II-7. 経営改革の推進

1.1 第3期中期計画のポイント

1) 研究開発活動による東京の成長産業支援

＜研究開発重点4分野＞

「環境・エネルギー」「生活技術・ヘルスケア」

「機能性材料」「安全・安心」

＜ロボット産業活性化事業＞

2) 開発型中小企業の支援充実

＜プロダクトイノベーションの推進＞

3) 中小企業の海外展開支援

4) サービス産業（特に生活関連産業）の支援

5) 高度な産業人材の育成

1.2 事業メニュー

中小企業こそが イノベーションを 起こす



1.3 平成29年度 年度計画のポイント

- 1) 研究開発による東京の成長産業支援
 - 重点4分野を含む基盤研究の強化による製品化・事業化
 - 研究制度改革の推進
 - 中小企業のIoT化支援事業
 - 障害者スポーツ研究開発事業
- 2) 相談・試験体制の強化
 - ブランド試験と国際規格準拠の試験項目の拡充
 - 城東支所リニューアルによるものづくり支援体制の強化
- 3) ロボット産業活性化事業の推進
 - 公募型共同研究開発事業の推進と成果の事業展開
- 4) 中小企業の海外展開支援
 - MTEPおよびバンコク支所の活用
 - 航空機産業への参入支援
 - 医療関連機器等の海外展開支援

1.4 人員計画

	H25 (25.4.1)	H26 (26.4.1)	H27 (27.4.1)	H28 (28.4.1)	H29予定 (29.4.1)
研究員	240	243	253	250	250
うち固有	(230)	(238)	(242)	(236)	(238)
うち任期付	(10)	(5)	(11)	(14)	(12)
うち都派遣	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
事務職員 (含む技術職)	43	43	40	45	47
うち固有	(23)	(25)	(24)	(29)	(32)
新採研究員	(10)	(8)	(10)	(7)	(7)
小計	283	286	293	295	297
合計	283	286	293	295	297

I-1. 平成28年度事業概要

II-1. 平成29年度年度計画

II-2. 研究開発事業

II-3. 製品化支援・技術支援事業

II-4. ロボット産業活性化事業

II-5. 海外展開支援事業

II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業

II-7. 経営改革の推進

2.1 研究開発による東京の成長産業支援

1) 研究事業メニュー

- ① 基盤研究：都産技研が計画・実施する研究。
研究成果を活用し、共同研究等により製品化・事業化を図る。
- ② 共同研究：中小企業の技術開発、製品開発を前提に中小企業と資金を出しあって共同で行う応用的研究。
- ③ 外部資金研究：経済産業省、文部科学省等、特定のテーマに関する競争的外部資金を得た研究。

2) 第三期の重点研究4分野

環境・エネルギー

環境浄化技術・リサイクル・エネルギーマネジメント・次世代エネルギー

生活技術・ヘルスケア

感性工学・高齢者支援・医療機器

機能性材料

高機能性材料・機能性付与加工・機能性評価

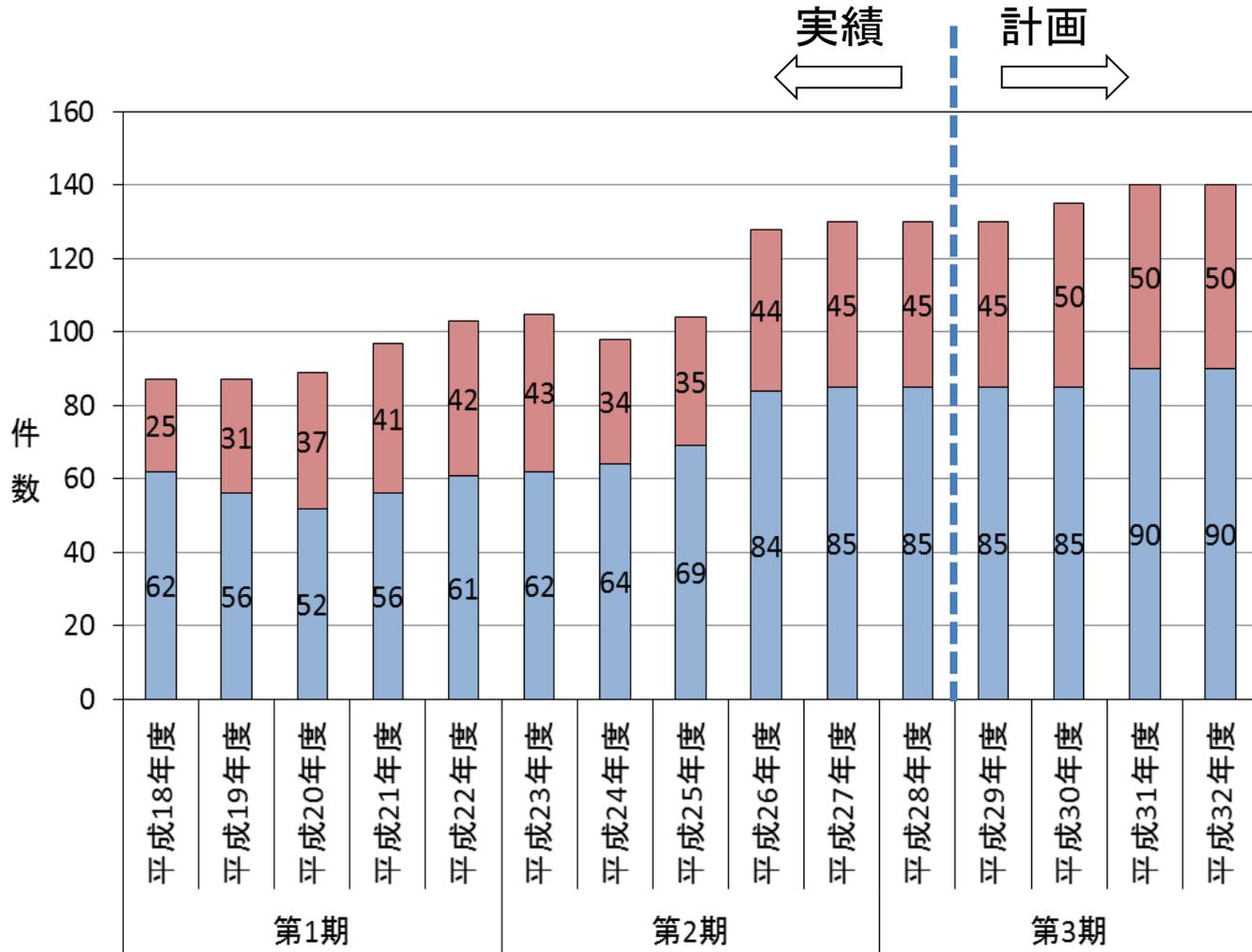
安全・安心

ロボット・産業基盤・社会インフラ

3) 重点4分野を含む基盤研究の強化による製品化・事業化の推進



2.2 研究テーマ数の推移と第3期の目標設定



○研究員の研究能力向上

○ワイドキャリア
スタッフも研究
主導可とする

■ 共同研究
■ 基礎研究



第3期末目標テーマ数

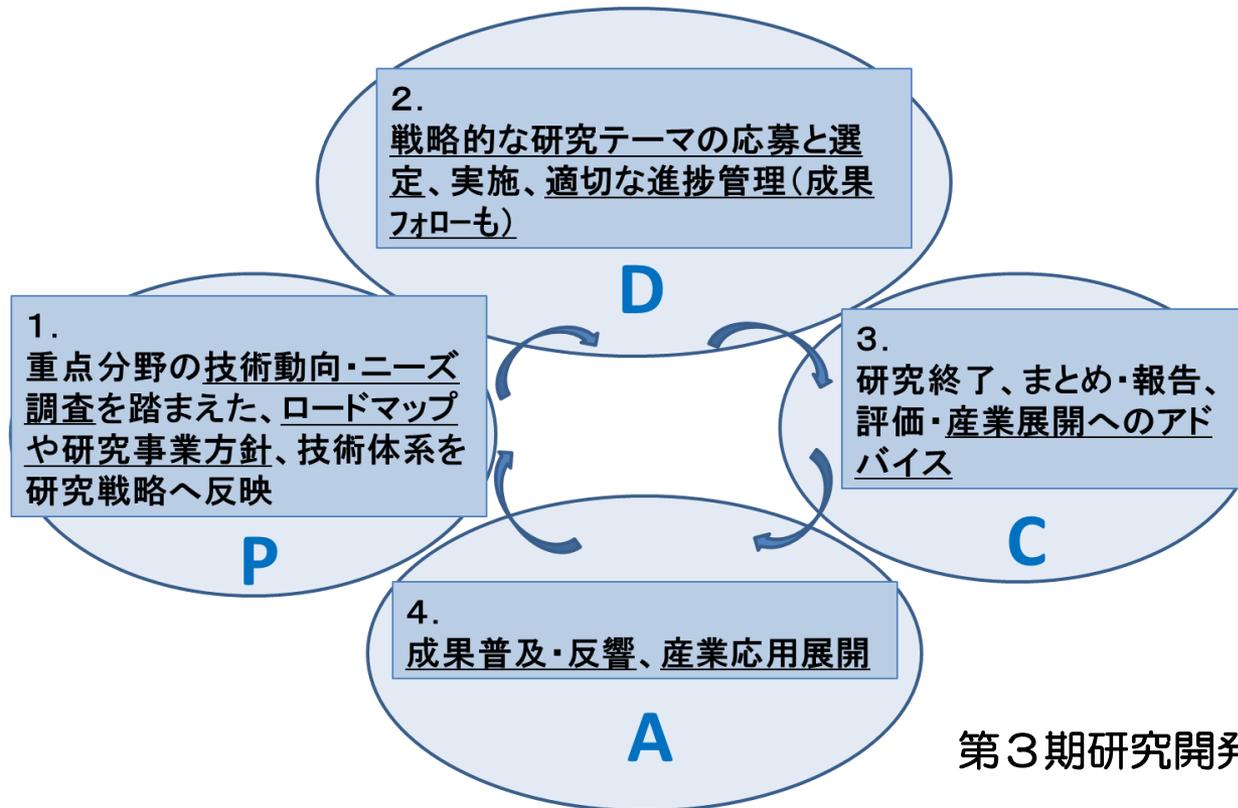
基礎研究 90件
共同研究 50件

平成29年度目標
基礎研究 85件
共同研究 45件

2.3 研究制度改革の推進

- ①特定研究員制度：卓越した研究開発業績を有する者を特定研究員に指定し、一定の職責手当を支給する。
- ②論文指導員制度：一定の要件を満たす研究員を論文指導員として任命し、論文指導を希望する、または所属長が指導の必要があると判断した職員に対し論文指導を行う。

(H28年度、10名の論文指導員による論文指導を開始)



第3期研究開発事業のPDCAサイクル

2.4 特定運営費交付金事業による共同研究の開始

■中小企業へのIoT化支援事業 (H29~H33)

IoT技術の中小企業への導入・普及を図るため、工場等へのIoT技術の導入やIoT関連製品の開発を実施

実施内容

①IoT共同開発研究（各年4社）

- IoT関連機器、ソフト等の製品開発支援
- 期間：1年間（※H32まで毎年公募）
- 開発例：センサー、ウェアラブル製品

②IoTソリューション研究（各年4社）

- 中小工場、事業所等のIoT化推進のためのシステム開発等を支援
- 期間：3年間（※H31まで毎年公募）
- 開発例：受発注情報等を共有する“つながる工場”
中小企業の導入しやすい生産管理システム



評価例：高速通信試験

■障害者スポーツ研究開発 促進事業（H29~H31）

障害者スポーツ用具等の開発を目的として、基礎研究から試作品の開発・評価を実施

実施内容

①基礎研究（都産技研のシーズ技術開発）

- 障害者スポーツで使用する用具等の基礎研究
および要素技術の開発

②共同開発研究（中小企業等との製品化）

- 新製品を市場へ投入することを目的として、
試作品の開発および評価を実施



評価例：スポーツ義足の力学的特性

- I-1. 平成28年度事業概要
- II-1. 平成29年度年度計画
- II-2. 研究開発事業
- II-3. 製品化支援・技術支援事業
- II-4. ロボット産業活性化事業
- II-5. 海外展開支援事業
- II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業
- II-7. 経営改革の推進

3.1 相談・試験体制の強化

○技術相談

① 総合支援窓口専門相談（H28年度開始）

8人の専門相談員が製品化実現に向けて幅広く支援

- ・機械
- ・知的財産
- ・技術経営（自動車）
- ・工業デザイン
- ・環境マネジメント
- ・通信、情報、機能安全
- ・計測分析システム
- ・マーケティング

② 相談業務の成果フォロー

顧客満足度を上げるための取り組みを強化

③ 実地技術支援の継続

中小企業のプロダクトイノベーション支援

○ブランド試験と国際規格準拠の試験項目の拡充

① ブランド試験の拡充

依頼試験に占めるブランド試験の比率を高め、高付加価値製品の支援を強化

H28年度：10分野

- ・音響試験
- ・非破壊透視試験
- ・放射線試験
- ・めっき・塗装複合試験
- ・照明試験
- ・ガラス技術
- ・高速通信試験
- ・光学特性計測技術
- ・高電圧試験
- ・環境防カビ試験

+

H29年度：新たな分野を追加して11分野に

② 国際規格準拠の試験項目の拡充

- 中小企業の海外展開支援を強化するため、国際規格への対応を強化
（国際規格対応試験目標：H32末4,000件）
- IEC,ISO規格等海外規格への対応
 - CEマーキング・安全規格/規制
 - 航空機産業への参入支援
 - 医療関連機器等の海外展開支援

3.2 機器利用サービスの充実

○利用ニーズの高い機器を計画的に整備・更新

○機器予約状況提供サービス

都産技研ホームページから予約情報提供
(H28年度：437機種)



The screenshot shows a web-based reservation system interface. It features a calendar grid where different colors (green, red, yellow) represent the availability status of various machines for different dates. The interface includes navigation buttons and a search function.

HP予約公開状況

○機器利用オンライン予約サービスの継続（本部29機種）

No.1前面ガラスA (恒温恒湿槽)



温度範囲 -40~+90℃
湿度範囲 20~95%RH
内法(mm) W1000,H1000,D800
特徴:前面がガラス張りで槽内が見え、
手を入れて作業ができる恒温恒湿槽。
※外部からビデオカメラ等で、
24時間監視(撮影)も可能。

[予約カレンダーへ](#)



The screenshot shows a detailed view of the online reservation system. It displays a table of machine availability for various dates, with columns for different time slots. The interface includes a search bar, a calendar view, and a reservation form.

オンライン予約可能な機器と、その予約画面

3.3 城東支所リニューアルによるものづくり支援体制の強化

(平成29年10月予定)

「金属製品製造業、日用雑貨製造業におけるプロダクト・イノベーションの実現」をキーワードに製品構想から製品販売まで一体支援

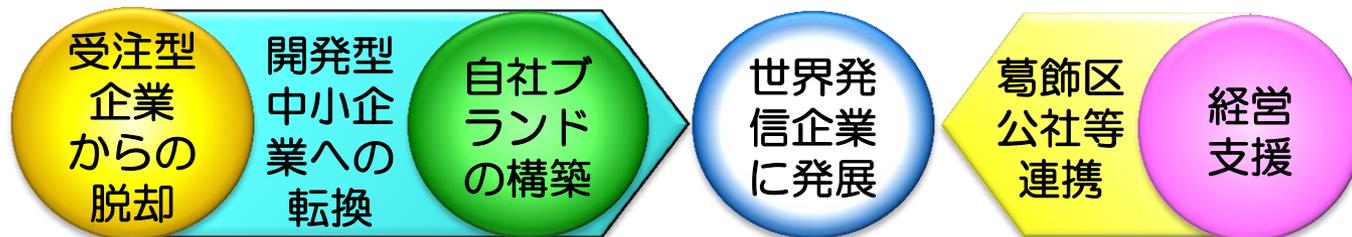
1. デザイン開発を強化し、自社ブランドの構築を支援
2. 先端の試作加工機を導入し、付加価値の高いものづくりを支援
3. 「デザインスタジオ」と「プロダクトスタジオ」を整備し、試作工場としての機能を充実
4. 公社、理科大等との地域連携機能を活用し、世界発信企業の輩出を目指す



複数樹脂対応AM
→ 多色成形が可能



レーザー加工機
→ 金属加工が可能



-
- I-1. 平成28年度事業概要
 - II-1. 平成29年度年度計画
 - II-2. 研究開発事業
 - II-3. 製品化支援・技術支援事業
 - II-4. ロボット産業活性化事業
 - II-5. 海外展開支援事業
 - II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業
 - II-7. 経営改革の推進

4 ロボット産業活性化事業（1/3）

ロボット産業活性化事業（平成27年度～平成31年度）

事業コンセプト

国の推進するロボット産業革命（少子化対策、生活の質の向上、産業活性化）の実現に向け、**中小企業のロボット産業創出**を後押しする。

【基盤技術開発】

中小企業が一から開発することなく使える共通の技術を都産技研で開発し、迅速に技術移転を実施

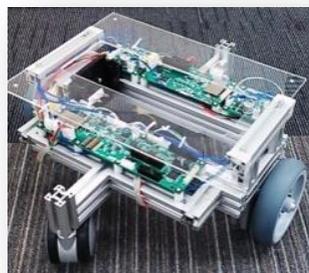
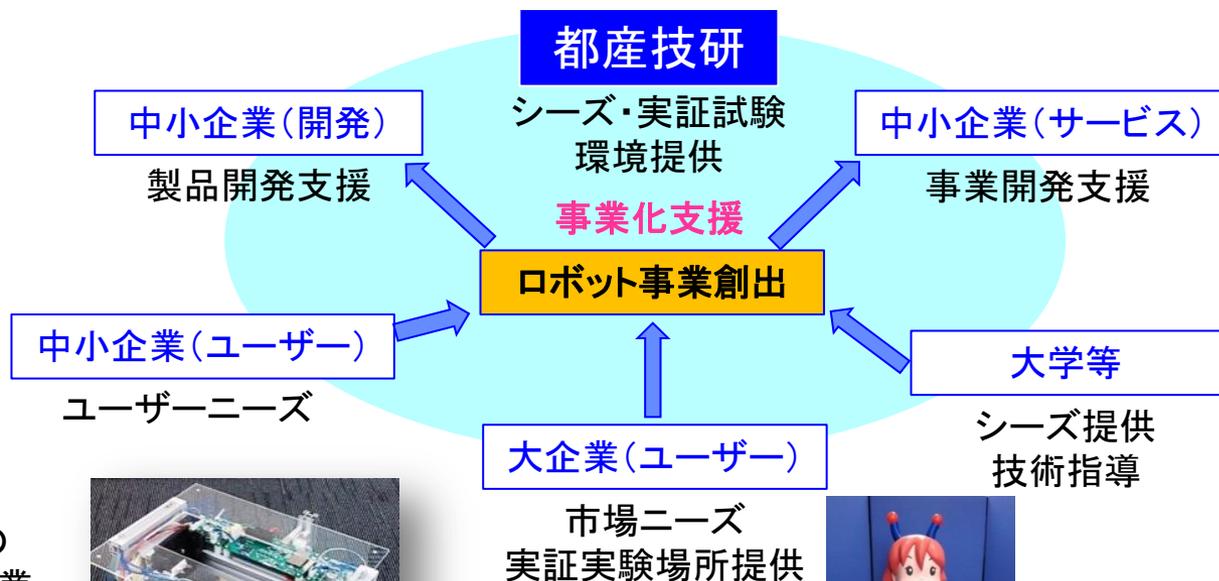
【共同研究開発】（公募型）

- 都産技研と中小企業等によるロボットに関する製品開発・技術開発
- ロボットを活用したサービスやものづくりの自動化などロボット活用事業の開発

【事業化支援】

- ロボットユーザーの発掘や国内外の展示会などの機会を活用し、中小企業の市場開拓を支援
- ロボットの事業化を目指す全国の中小企業を集結、オープンイノベーション促進

【共同研究開発 開発体制イメージ】



基盤技術開発成果
(T型ロボットベース)



チリンロボット
(都産技研の案内ロボット)

4 ロボット産業活性化事業 (2/3)

公募型共同研究開発 平成28年度採択テーマ (計12テーマ)

◆短期展開型 (開発期間1年、委託上限1,000万円) 計4テーマ

案内支援	テレプレゼンスロボット (分身ロボット) を活用したバーチャル観光システムの開発	iPresence合同会社 〈兵庫県神戸市〉
産業支援	追従運搬ロボットの牽引機能の開発	株式会社Doog〈茨城県つくば市〉
産業支援	施設内の自動搬送ロボットシステムの開発	株式会社プリンシプル〈三重県津市〉
介護支援	失語症者向けリハビリテーションロボットの開発	株式会社理トロン〈大阪府大阪市〉

◆新市場創出型 (開発期間3年、委託上限3,000万円) 計6テーマ

案内支援	ホテルでの自立型走行可能な案内ロボットの開発	株式会社日本ビジネスソフト 〈長崎県佐世保市〉
産業支援	ロボット向け会話機能の高機能化と事業化	プロアクシアコンサルティング株式会社 〈大阪府大阪市〉
点検支援	係留型ロボット飛行船による安全な方面検査	有限会社アストロン〈茨城県鹿嶋市〉
点検支援	送電線・鉄塔点検用 ドローンナビゲーションシステム	ブルーイノベーション株式会社 〈東京都千代田区〉
点検支援	既設大型風力発電機のブレードに対する 点検/塗装の自動化	株式会社メルティンMMI 〈東京都渋谷区〉
介護支援	同調制御を用いた歩行支援ロボティックウェア curaraの実用化研究	有限会社デザインスタジオライフフォーム 〈東京都中野区〉

◆テーマ設定型 (開発期間1年、委託上限3,000万円) 計2テーマ

案内支援	商業施設における案内業務と店舗業務効率化	08ワークス株式会社〈東京都品川区〉
案内支援	美術館来館者向け施設案内ロボットの開発	株式会社プラネックス〈東京都墨田区〉

4 ロボット産業活性化事業（3/3）

【H29年度事業】

日本国内の中小企業との共同開発による製品化・事業化の推進

① 公募型共同研究開発

H27採択 新市場創出型5テーマ【継続】

H28採択 短期展開型4テーマ 新市場創出型6テーマ【継続】

H29採択予定 短期展開型6テーマ【拡充】

② テーマ設定型共同研究開発

オリンピック・パラリンピック東京大会での活躍を期待した
ロボットや都政課題解決のために必要となるロボット開発を促進

H28採択 案内支援ロボット2テーマ

H29採択予定 点検・警備支援ロボット（予定）2テーマ【拡充】



Libra（リブラ）
（都産技研の案内ロボット）

事業化を見据えたロボット技術・共同開発成果の発信、人材教育

・「国際ロボット展2017」出展によるビジネスチャンスの創出

・ユーザー企業とロボット開発企業とのマッチングの場の提供

①ホームページを利用したユーザーニーズとシーズの
マッチングをサポート【新規】

②サービス産業など専門展示会出展によるロボットユーザー
企業の開拓とユーザーニーズの収集【継続】

・サービスロボットの安全性に関するセミナーほか 4テーマ



ロボット実用化
プロモーション事業

-
- I-1. 平成28年度事業概要
 - II-1. 平成29年度年度計画
 - II-2. 研究開発事業
 - II-3. 製品化支援・技術支援事業
 - II-4. ロボット産業活性化事業
 - II-5. 海外展開支援事業
 - II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業
 - II-7. 経営改革の推進

5.1 広域首都圏輸出製品技術支援センターMTEP (1/2)

- 1 国際規格に対する情報提供や技術相談に対応する体制を整備
- 2 都産技研が海外で通用する成績証明書発行や試験機器の整備を強化



H27年4月より、1都10県1市
機関による事業運営に拡大

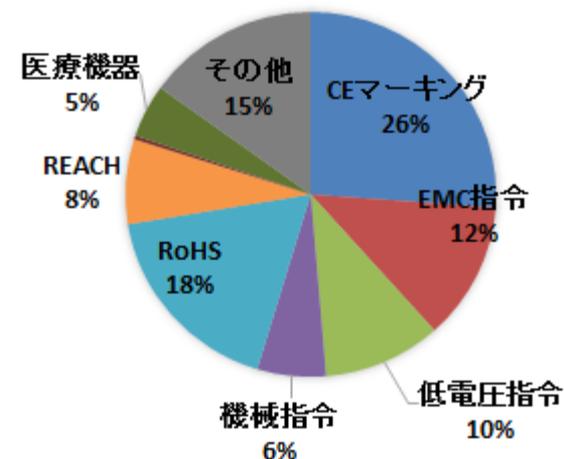
- ①国際規格情報の提供
ISO・IECなど主要規格閲覧サービス
- ②専門相談員による相談支援
企業OB等を活用した相談体制
- ③規格適合性評価試験の拡大
試験評価機器を整備し認定機関取得拡大へ
- ④国際規格適合設計支援
海外向け製品開発設計支援やセミナーでの情報提供

- H28年度 青森県、滋賀県、鳥取県、山口県がオブザーバー参加
- H29年度 機関長協議会海外展開支援分科会実施による情報共有の強化
- H29年度 海外機関より講師を招聘した講演会の開催
「欧州における医療機器指令の改正（医療機器規則へ）情報」
- H29年度 MTEP開設5周年セミナー開催

○専門相談員による相談の継続

- 都産技研では14名の専門相談員を配置
- H28年度2月末相談実績1,146件(H27年度末1,247件)

専門相談員 規格対応分野一覧	
CEマーキング・EU関連	<ul style="list-style-type: none"> • 全般的な相談 • 電気安全 • RoHS指令 • EMC指令 • 機械指令 • REACH指令 • 低電圧指令
海外規格(国別)	<ul style="list-style-type: none"> • 米国 • 中国 • 韓国 • 台湾
その他	航空機、玩具指令、医療機器、知的財産、材料関係ほか



<対応分野別内訳>

○成果事例

■自転・公転真空ミキサーの規格適合支援

欧州規格が要求する温度測定や認証部品の使用方法
および実機による安全構造評価、RoHS対応として
製品含有化学物質管理の仕組みについてアドバイス



5.2 都産技研バンク支所

タイ王国の首都バンコクに、都産技研初の海外拠点「バンコク支所」を開設し、ASEAN地域に進出した日系中小企業の技術支援を実施。

○業務内容

①日系中小企業の技術相談（無料）

現地で解決できない課題は本部とテレビ会議を実施

②日系中小企業の現地工場での実地支援（品質改善等）

③現地技術セミナーの開催（海外規格等に関する情報提供）

④ASEAN地域進出希望の都内中小企業の現地立ち上げ支援 （H28年度上半期利用実績：技術相談90件、実地支援61件）

○平成28年度の主な活動

①セミナー事業

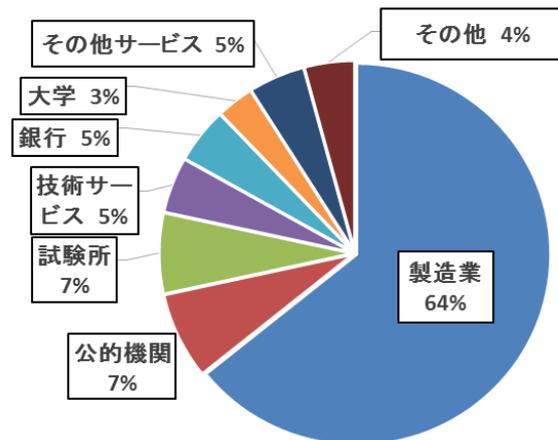
- ・本部とTV会議を活用した遠隔セミナーを開催
- ・首都大学東京との連携セミナー

②交流事業

- ・東京都中小企業振興公社タイ事務所と連携した異業種交流を開催
- ・日系企業の先導役となるべく、タイ国内の4つの試験機関を訪問

○平成29年度の活動内容

- ・現地ニーズに沿った技術セミナーの充実
- ・技術相談から実地技術支援までのワンストップサービスの提供



<H28利用団体内訳>



<H28開催首都大セミナーの様子>

-
- I-1. 平成28年度事業概要
 - II-1. 平成29年度年度計画
 - II-2. 研究開発事業
 - II-3. 製品化支援・技術支援事業
 - II-4. ロボット産業活性化事業
 - II-5. 海外展開支援事業
 - II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業
 - II-7. 経営改革の推進

6.1 技術経営支援

技術経営支援事業を活用し、新製品開発支援、産業支援、連携強化等を促進

1) 製品開発支援ラボ<24室を維持>

- ラボマネージャーを設置して、技術開発に加えて外部資金獲得など経営面でのアドバイスを実施
- 新製品・新技術開発支援
- 共同研究開発室を3室設置して、共同研究の成果展開を支援

2) 機関連携<連携機関数よりも内容重視>

- 東京イノベーション発信交流会等による並走型技術支援
- 医工連携HUB機構との連携による医療機器産業への参入支援
- 協定締結機関や公設試等との連携
- 経済産業省予算の活用（補正予算等の活用による機器整備）
- 産業交流（異業種交流事業）、学協会連携

3) 技術審査<審査事業を通じた産業貢献>（H28年度4,282件/1月末）

- 中小企業等への助成や表彰への協力
- 技術力のある企業の発掘、表彰企業の成果フォロー

4) 知的財産権の活用<実施許諾拡大に重点>

- 都産技研が獲得した知的財産権を活用した中小企業の技術開発支援
- 知的財産権の中小企業等への実施許諾（H28年度1月末：4件 第三期中30件）

6.2 産業人材育成

産業人材の多面的な育成支援

海外進出人材育成

○海外において技術と営業の両方を進められる人材を育成

MTEPの海外規格セミナー

+

海外事業展開に必要な知識、スキル等のセミナー
(経営支援機関とも連携)

実践型高度産業人材育成

○新製品開発型エンジニアの育成

東京の発展を支える産業人材の創出

- ・専門性を強化する内容
- ・最新の技術トピックス

サービス産業向けセミナー

○営業、卸、小売、販売員、新人の育成

技術職以外向けのセミナー

- ・初心者の期待に応える内容
- ・産業の多機能化を支援

6.3 情報発信・情報提供

積極的な広報活動、効果検証による
都産技研の認知度向上

第二期
認知度
目標50%

広報活動
の充実

第三期
認知度
目標60%

(H28調査実施中)

1) 情報発信手段の拡充

① アクセスしやすいホームページにリニューアル (H28)

- ・ 知りたい情報・知ってもらいたい情報を発信
- ・ **動画コンテンツの導入 (H29)**
- ・ 機器・設備検索を充実
(全国公設試の機器検索サイトへもリンク)

② **事業案内をはじめとした英語版資料の整備**



都産技研ホームページ



中小企業と技術の出会いの場
TIRIクロスミーティング

2) 都産技研の利用拡大

① 都産技研が主催するイベントを充実強化

- ・ 都産技研・連携機関の技術シーズと企業のマッチング促進
- ・ 専門展示会で技術シーズや新たな取り組みをPR

② **未利用媒体への広告掲載**



化粧品開発展

- I-1. 平成28年度事業概要
- II-1. 平成29年度年度計画
- II-2. 研究開発事業
- II-3. 製品化支援・技術支援事業
- II-4. ロボット産業活性化事業
- II-5. 海外展開支援事業
- II-6. 技術経営支援・産業人材育成・情報発信事業
- II-7. 経営改革の推進

II-7. 経営改革の推進

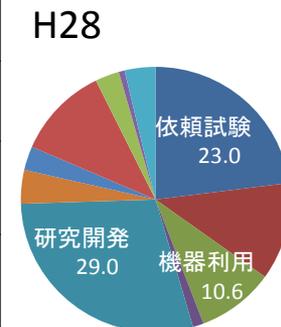
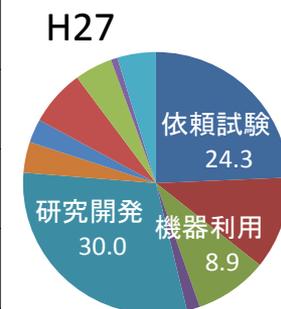
7.1 セグメント経営（業務時間分析の継続）

セグメント 経営

損益計算等の財務情報を、事業別・地域別などの切り口（セグメント）で区分・管理し、その分析結果を経営戦略等に生かすこと

平成23年度より、研究部門で業務時間調査を本格実施

	技術支援		研究開発	製品開発支援 (機器利用等)	産業サービス	その他
	依頼試験	技術相談				
ロボット	0.1	0.7	53.9	2.8	32.1	10.3
開発第一部	30.7	9.4	28.1	7.4	20.3	4.2
開発第二部	28.9	15.6	30.2	4.3	16.4	4.5
開発第三部	12.3	8.7	25.4	13.0	35.3	5.3
技術開発支援部	20.2	12.7	29.5	18.9	16.9	1.8
地域技術支援部	14.7	14.2	33.5	21.7	11.4	4.6
多摩テク	29.3	13.5	20.4	8.4	24.2	4.4
全体平均	23.0	11.9	29.0	10.6	21.1	4.4



平成28年度第2回調査結果（単位：％）

7.2 業務改革の推進

経営品質の向上や業務運営の効率化に重点を置き、全部門において業務改革の実施を継続

H28年度実施例（全38件中）				
分類	担当部署	テーマ	取組み内容	取組み成果
業務効率化	交流連携室	外部連携機関情報の所内周知手段の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を必要としている職員全員に効率的に周知できるようにすることを目的とし、そのための手段を検討する。 ・解決手段の案：交流連携室ニュースを作成・配布等 	 <p><交流連携室かわら版></p>
サービス向上	実証試験セクター	新しいパンフレット・小冊子の作成と更新およびHPの刷新による積極的なPRの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに導入した試験機などを反映した新しいパンフレットの作成 ・お客様の要望などを反映した依頼試験・機器利用の詳細かつ明確なハンドブック(小冊子)の作成 	 <p><依頼試験・機器利用ハンドブック></p>

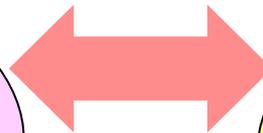
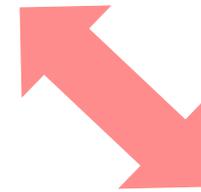
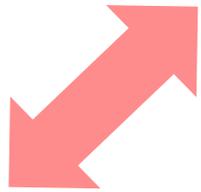
3つのC



Communication
議論

Collaboration
協力

Consilience
一緒に跳躍



ありがとうございました

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センターを
今後ともご指導、ご支援のほど
宜しくお願い致します